

地域活動、防災防犯についてのまとめ

第3部会 地域活動、防災・防犯分野

1 審議会での主な意見

【地域活動】

- ・ ゆるく繋がれる場所
- ・ コミュニティづくりのフレームワーク（マッチング、ネットワーキング、シェアリング）
- ・ 町会の高齢化や担い手不足により、子ども会、PTA、学校、保育園などとの連携が大事
- ・ きれいなまちにして、事業者がマンションを建てたくなるまちをつくる
- ・ コミュニティの重なり（地域、防災、福祉、子育て、まちづくり、スポーツ等）
- ・ エリアの価値やアイデンティティを高めていく
- ・ コロナ禍を契機としたデジタルコミュニティや外国人との共生を打ち出す（言語、民泊等の問題）
- ・ コミュニティと教育（職人など墨田らしい人材を育む、子どもの地域活動への関わり）
- ・ 企業、学校を核としたコミュニティづくり

【防災・防犯】

- ・ 倫理観を高める教育 防犯カメラの設置
- ・ 隣近所にどういう人が住んでいるのか分からない、地域に対する無関心
- ・ 水害対策、木密地域、要配慮者対応
- ・ 災害時の対応（受援体制、共助のあり方、情報発信、官民連携）
- ・ 日常と災害を結びつける、いろいろなかたちの繋がり方を普段からつくっておく
- ・ 防災も防犯も正しく恐れることが大事

前回の審議で出された意見・キーワードを列記。

地域活動、防災防犯についてのまとめ

第3部会 地域活動、防災・防犯分野

2 10年後の未来予想図

コミュニティ「人と人とのつながりが織りなす地域力日本一のまち」

デジタル技術の社会実装や国際化がさらに進展し、コミュニティのあり方も多様化していきます。既存のコミュニティと新しいコミュニティがゆるやかに重なり合いながら、人と人とのつながりによって、地域の風情を守りつつ、課題に向き合い、解決していくまちをめざします。

■つながりをつくる

地縁・学校・趣味・防災・福祉、つながるきっかけはさまざまです。コミュニティ活動の重要性、担う人々の努力、また、新たに参加する人の不安を相互に理解し、交流の輪が広がるしくみをつくります。

■みんなで守る

日ごろから、正しく防災や防犯への理解を深め、いざという時は地域が一丸となって助け合える、自助・共助・公助の連携による、安全で安心なまちをつくります。

■ともに生きる

年齢や性別、障がいの有無、人種や国籍を超えて、互いの違いを認め合い、相手のことを尊重し、思いやりながら、穏やかな平和の中で、ともに暮らせる地域をつくります。